

東海聖書神学塾

塾報

2020 年 1 月

第 7 0 号

460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター3階

☎・FAX 052-321-7516

E-mail tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com

<http://tts.jpn.org>



「主の召しに忠実に」

春日井福音自由教会 牧師

東海聖書神学塾 教師

鈴木 健之

『人の子も、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。』
マルコ 10 章 45 節

先日教会で 92 歳の姉妹が天に召され、葬儀が行われた。彼女の口癖は「いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい。すべての事に感謝しなさい。」であった。最初彼女が喜んでいたのは、イエス様に罪を赦され、救いに入れて頂いたからだと思っていた。ところが、彼女の真の喜びは主に仕え、主に自分を捧げることであったと気づかされた。キリストは、仕えるため、与えるために来られたのです。戦後日本の教会は、何もないところから欧米の宣教師たちの心から救霊を願い、己を捧げ切った宣教スピリットによって各地に開拓伝道が進められ教会が建て上げられてきた。教会の成長と共に、東海地方にも献身者を養成訓練する神学校の必要が叫ばれる様になり、地域の牧師たちの協力で 1985 年に東海聖書神学塾が開塾されてから 34 年が過ぎた。

その間、私は 1997 年から 10 年間京都の宇治市へ転任、2007 年から 7 年間大阪の高槻市阿武山に転任、牧会をしながら、計 17 年間毎週一度車で片道 3 時間以上をかけて、京都、大阪から名古屋の神学塾まで通い続けた。途中、一度もつらい、辞めたいと思ったことは無かった。払うべき犠牲がどんなに高くても、しもべの生き方を理解する人がどんなに少数であろうとも、気落ちしてはならない。神は喜んで与える人を愛してくださる(Ⅱコリント 9:7.)。善意な人は祝福を受ける(箴言 22:9)と約束しておられます。通い続ける中に、塾を通して、いつも主に従い、仕える神の僕が起こされて育っていく事を願い、その働きに加えられていることは大きな喜びであった。無学な僕を愛し、受け入れて下さる主に心からの感謝を捧げるだけである。

願わくは、これから先、この世に生きている間、何年残っているか分からないが、主イエス・キリストの再臨の時まで、我々の東海聖書神学塾が、神に愛される、主の召しに忠実に生きる僕の養成訓練の機関であらんことを。

夏期教会実習



津豊ヶ丘キリスト教会



2019年7月4日（木）から7日（日）にかけての3泊4日の教会実習では、実習生として専門科の庄司好男兄、基礎科の東浩子姉、近藤徹兄、中村京子姉と筑間の5名の内4名が今年度入塾した兄姉でしたがとても素晴らしいチームワークを発揮することのできた中身の濃い実習でした。竹内誠牧師や小澤謙副牧師は、私たちの訓練にもなるようにと家庭集会への参加を備えてくださったこと、聖日午後には塾生主体の伝道集会という機会も与えてくださいました。牧師のみ言葉に対する妥協のない真摯な取り組みと教会員のお一人ひとりもみ言葉に生かされて奉仕をされていること、また本当に神様を愛しているという思いが5つある家庭集会に現れていました。

（信徒奉仕者コース4年 筑間秀治）



名古屋南福音自由教会



7月4日（木）から7日（日）の4日間、名古屋南福音自由教会において伝道実習に参加できたことを感謝します。牧師の和田賢治牧師夫妻はじめ、塾卒業生の水野姉夫妻や信徒の方々から一年前から祈りがあったと聞き、また尊い捧げものを頂きました。ありがとうございました。今回、教会から依頼があったトラクト配布も天候が守られ、曇りの日に多くのトラクトが配られた事も感謝します。夜の尾張温泉では癒されました。夜の集会での土井師夫妻、和田牧師夫妻との交わりとお話しも祝福された時となりました。両夫妻のこれからのお働きのために主の豊かな祝福をお祈りします。

7日の礼拝奉仕に於いても、塾生がそれぞれの賜物を生かして奉仕出来ました。私たちの主が共におられた祝福の実習でした。

（信徒奉仕者コース2年 渡辺 博哉）

安城キリスト教会



安城キリスト教会の主日礼拝では、たくさんのお子さんに会いました。祖父母の代からお子さん、お孫さんへと信仰継承がなされ、大家族で礼拝に出席されている姿が印象に残りました。子どもメッセージや特別讃美、証を塾生が担当して行いました。祈祷会では、檀原先生が「約束に忠実に生きる」というお話をしてくだり、塾生として、受けた召し、選んだ選択に対して忠実に生きていきたいと思いました。学びでは、自立し、活力ある伝道と教会形成には、信徒教育の大切さや、どのような教会形成を目指していくのか主体的に考え、実践していくことが大切だと教えていただきました。檀原先生ご夫妻はじめ、教会の方々、塾の仲間、神様に心から感謝致します。

（信徒奉仕者コース2年 今泉真由美）